



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 六甲バター株式会社

コード番号 2266

URL <http://www.qbb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大川 良 (TEL) 078-231-4681

四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	17,935	2.7	1,800	△1.3	1,770	△3.9	1,030	△3.9
21年12月期第2四半期	17,466	-	1,823	-	1,841	-	1,071	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	51.16	-
21年12月期第2四半期	53.20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	23,242	11,538	49.6	573.19
21年12月期	24,057	10,814	45.0	537.12

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 11,538百万円 21年12月期 10,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	-	0.00	-	10.00	10.00
22年12月期	-	0.00	-	-	-
22年12月期(予想)	-	-	-	7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	1.2	2,660	△35.2	2,650	△34.5	1,550	△32.4	76.96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 有

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	21, 452, 125株	21年12月期	21, 452, 125株
22年12月期 2 Q	1, 320, 928株	21年12月期	1, 317, 152株
22年12月期 2 Q	20, 132, 854株	21年12月期 2 Q	20, 144, 953株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関しましては、2ページ【当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報】をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に好転の兆しが見られたものの、欧州財政危機の影響により再び景気の不透明感が強まりました。

当社グループの主力分野であるチーズ業界におきましては、輸入原料チーズ価格が年初に再び高騰いたしました。需要面では主として家庭用チーズに消費の回復が見られました。

このような状況のなか当社グループといたしましては、食の「安全・安心」を最重点に、更なる品質管理体制の強化に努めるとともに、販売の促進、新製品の開発、コストの低減に努めました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は179億3千5百万円（対前年同四半期比102.7%）、営業利益は18億円（対前年同四半期比98.7%）、経常利益は17億7千万円（対前年同四半期比96.1%）、四半期純利益は10億3千万円（対前年同四半期比96.1%）となりました。売上高の内訳はチーズ部門が169億5千5百万円（対前年同四半期比103.7%）、ナッツ部門が4億5千6百万円（対前年同四半期比85.1%）、チョコレート部門が4億3千万円（対前年同四半期比84.2%）、その他部門が9千1百万円（対前年同四半期比137.6%）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が2億2千5百万円、短期貸付金が5億円増加しましたが受取手形及び売掛金が13億7千2百万円、流動資産のその他が1億6千1百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し8億1千4百万円減少し、232億4千2百万円となりました。また、負債は、支払手形及び買掛金が4億4千7百万円増加しましたが未払法人税等が10億1千1百万円、流動負債のその他が4億3千7百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し15億3千8百万円減少し、117億3百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により10億3千万円増加しましたが配当金の支払により2億1百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し7億2千4百万円増加し、115億3千8百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは15億9千2百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益と売上債権の減少による収入であります。（前年同四半期は25億2千6百万円の収入）

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは18億1千1百万円の支出となりました。主な要因は定期預金の預入による支出、短期貸付による支出及び有形固定資産の取得による支出であります。（前年同四半期は17億1千3百万円の支出）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億9千1百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払による支出と短期借入金の返済による支出であります。（前年同四半期は2億5千8百万円の支出）

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて5億1千万円減少し19億7千9百万円（前連結会計年度末は24億9千万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成22年2月12日発表の連結業績予想から、売上高についてのみ、当第2四半期連結累計期間における家庭用チーズ製品の売上が順調に推移したことから5億円上方修正いたしております。なお、利益面では当初の予想をやや上回って推移はしているものの、一部製品価格の動向に不透明な要素があるため、平成22年2月12日発表のままとし、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・表示方法の変更

前第2四半期連結会計期間において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「短期貸付金」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記しております。

なお、前第2四半期連結会計期間の流動資産の「その他」に含まれる「短期貸付金」は2,004,977千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,264,210	3,038,250
受取手形及び売掛金	7,365,335	8,737,912
商品及び製品	1,113,385	1,067,555
仕掛品	71,007	73,102
原材料	862,405	925,347
短期貸付金	2,504,482	2,004,227
その他	570,765	732,668
貸倒引当金	△153	△154
流動資産合計	15,751,438	16,578,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,830,136	4,834,778
減価償却累計額	△3,289,649	△3,259,394
建物及び構築物（純額）	1,540,486	1,575,383
機械装置及び運搬具	8,510,297	8,570,062
減価償却累計額	△6,283,727	△6,442,448
機械装置及び運搬具（純額）	2,226,569	2,127,614
土地	1,121,756	1,121,756
建設仮勘定	113,652	128,552
その他	525,564	485,124
減価償却累計額	△391,021	△384,748
その他（純額）	134,542	100,375
有形固定資産合計	5,137,008	5,053,682
無形固定資産		
無形固定資産合計	142,753	120,102
投資その他の資産		
投資有価証券	668,448	777,045
その他	1,554,522	1,536,771
貸倒引当金	△11,496	△9,476
投資その他の資産合計	2,211,475	2,304,341
固定資産合計	7,491,237	7,478,126
資産合計	23,242,676	24,057,034

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,177,007	3,729,490
短期借入金	1,500,000	1,590,000
未払費用	2,252,298	2,604,033
未払法人税等	651,137	1,662,264
株主優待引当金	—	8,270
役員賞与引当金	—	50,000
その他	718,933	1,156,857
流動負債合計	9,299,376	10,800,916
固定負債		
退職給付引当金	1,965,356	2,011,731
その他	438,997	429,466
固定負債合計	2,404,354	2,441,198
負債合計	11,703,731	13,242,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金	2,409,014	2,409,014
利益剰余金	6,493,239	5,664,533
自己株式	△420,221	△418,590
株主資本合計	11,325,236	10,498,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	178,539	243,760
繰延ヘッジ損益	35,169	72,998
評価・換算差額等合計	213,708	316,758
純資産合計	11,538,945	10,814,919
負債純資産合計	23,242,676	24,057,034

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	17,466,113	17,935,079
売上原価	10,065,371	9,786,169
売上総利益	7,400,742	8,148,909
販売費及び一般管理費	5,576,807	6,348,350
営業利益	1,823,935	1,800,559
営業外収益		
受取利息	8,911	2,913
受取配当金	7,741	8,967
為替差益	29,437	—
その他	5,943	6,921
営業外収益合計	52,034	18,802
営業外費用		
支払利息	25,002	9,568
為替差損	—	16,449
その他	9,003	22,998
営業外費用合計	34,006	49,015
経常利益	1,841,963	1,770,346
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,500
貸倒引当金戻入額	15,502	1
特別利益合計	15,502	7,501
特別損失		
固定資産廃棄損	27,544	31,647
特別損失合計	27,544	31,647
税金等調整前四半期純利益	1,829,921	1,746,201
法人税、住民税及び事業税	764,117	619,000
法人税等調整額	△5,939	97,144
法人税等合計	758,178	716,144
四半期純利益	1,071,742	1,030,056

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,829,921	1,746,201
減価償却費	353,744	406,053
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△151,701	△46,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15,502	2,018
長期未払金の増減額(△は減少)	—	9,531
受取利息及び受取配当金	△16,653	△11,881
支払利息	25,002	9,568
為替差損益(△は益)	△29,437	19,794
有形固定資産廃棄損	27,544	31,647
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,500
売上債権の増減額(△は増加)	1,297,696	1,372,576
たな卸資産の増減額(△は増加)	318,143	19,207
その他の流動資産の増減額(△は増加)	48,263	△15,483
その他の固定資産の増減額(△は増加)	110,607	68,965
仕入債務の増減額(△は減少)	△947,156	447,517
未払費用の増減額(△は減少)	△178,390	△351,002
その他	86,737	△496,596
小計	2,758,819	3,204,241
利息及び配当金の受取額	16,653	11,881
利息の支払額	△26,070	△9,781
法人税等の支払額	△223,047	△1,614,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,526,355	1,592,068
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△740,329	△810,500
定期預金の払戻による収入	503,495	53,989
有価証券の売却による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△488,147	△497,563
無形固定資産の取得による支出	—	△63,174
投資有価証券の取得による支出	△1,514	△1,487
投資有価証券の売却による収入	—	7,800
貸付けによる支出	△1,000,000	△503,380
貸付金の回収による収入	3,170	3,186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,713,324	△1,811,128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△90,000
長期借入金の返済による支出	△106,000	—
配当金の支払額	△149,483	△200,064
その他	△2,566	△1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,049	△291,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,366	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	556,347	△510,756
現金及び現金同等物の期首残高	2,010,469	2,490,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,566,817	1,979,608

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

事業の種類として「食料品の製造販売業」のみの単一事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高はありませんので、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。